

令和7年度「全国学力・学習状況調査」及び「とちぎっ子学習状況調査」 佐野市の結果概要について

4月に実施された「全国学力・学習状況調査」(小学校及び義務教育学校6年生、中学校3年生及び義務教育学校9年生対象)、「とちぎっ子学習状況調査」(小学校及び義務教育学校4・5年生、中学校2年生及び義務教育学校8年生対象)の結果をお知らせいたします。

※ 佐野市の児童生徒の学力がどの程度か、全国や県の平均正答率と市の平均正答率を比較したポイントの差で示しています。

- ・10ポイント以上 …… かなり上回る(下回る)
- ・5ポイント以上 …… 上回る(下回る)
- ・3～4ポイント台 …… やや上回る(下回る)
- ・0～2ポイント台 …… 同程度

【全国学力・学習状況調査の傾向】 平均正答率(%)を全国と比較

		R4	R5	R6	R7
小・義6	国語	同程度	同程度	同程度	同程度
	算数	同程度	同程度	やや下回る	やや下回る
	理科	同程度	\	\	同程度
中3・義9	国語	同程度	同程度	同程度	同程度
	数学	下回る	やや下回る	同程度	やや下回る
	理科	同程度	\	\	やや下回る※
	英語	\	下回る	\	\

※中3・義9理科はIRT(Item Response Theory:項目反応理論)スコア

【とちぎっ子学習状況調査の傾向】 平均正答率(%)を県と比較

		R4	R5	R6	R7
小・義4	国語	同程度	同程度	同程度	同程度
	算数	同程度	同程度	同程度	同程度
	理科	同程度	同程度	同程度	同程度
小・義5	国語	同程度	同程度	同程度	同程度
	算数	同程度	同程度	同程度	同程度
	理科	同程度	同程度	同程度	同程度

		R4	R5	R6	R7
中2・義8	国語	同程度	同程度	同程度	同程度
	社会	やや下回る	やや下回る	やや下回る	同程度
	数学	同程度	同程度	やや下回る	やや下回る
	理科	やや下回る	やや下回る	やや下回る	やや下回る
	英語	やや下回る	下回る	やや下回る	やや下回る

【両調査の共通する成果と課題】

- ◎全国や県と同程度の教科が多い。前年度と比較しても、大きな低下は見られないことから、各学校による学力向上に向けた取組により、学習状況はおおむね維持できているといえる。
- ◎課題のあった「書く」(記述すること)については、全国や県との差が縮まってきている教科もあり、各学校の取組の成果が表れてきている。
- △基礎・基本の内容の定着に課題が見られる教科もあった。
- △思考力・判断力・表現力等を問う問題の正答率が低かった教科もあった。
- △短答式や記述式の問題の無解答が一定数見られた教科もあった。

【今後に向けて】

- 書く力の育成については、授業の中で自分の考えをまとめる時間を確保するなど、取組を継続していく。また、課題となっている「基礎・基本の内容の定着」や「思考力・判断力・表現力の育成」の解決に向け、探究的な学習や体験的な学習などの充実を図りながら、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していく。
- 過去の問題やパワーアップシートに取り組む時間を確保するなど、短答式や記述式の問題に慣れていけるようにしていく。

【全国学力・学習状況調査(児童生徒質問調査)の傾向】

質問項目		小・義6	中3・義9
※主として「そう思う」「どちらかというと思う」などの肯定的な回答をした児童生徒の割合を、全国と比較			
学 習	(17) 平日における1日当たりの勉強時間(学校の授業時間以外)	上回る 「1時間以上」	同程度 「2時間以上」
	(32) 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	同程度	やや下回る
	(34) 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。	同程度	同程度
	(39) 授業や学校生活では、友達の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	同程度	同程度
	(41) 学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	やや上回る	やや上回る
	(43) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	同程度	同程度
生 活	(1) 朝食を毎日食べている。	同程度	同程度
	(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	同程度	同程度
自 分 自 身 の こ と	(5) 自分には、よいところがあると思う。	同程度	同程度
	(7) 将来の夢や目標を持っている。	同程度	同程度
	(9) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	同程度	同程度
	(12) 学校に行くのは楽しい。	同程度	同程度
社 会	(27) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	同程度	やや下回る

【とちぎっ子学習状況調査(児童生徒質問調査)の傾向】

質問項目 ※主として「そう思う」「どちらかというと思う」などの肯定的な回答をした児童生徒の割合を、栃木県と比較		小・義4	小・義5	中2・義8	
学 習	(1)	計画を立てて家庭学習をしている。	同程度	同程度	同程度
	(8)	平日における1日当たりの勉強時間（学校の授業時間以外）	上回る 「1時間以上」	やや上回る 「1時間以上」	同程度 「2時間以上」
	(17)	勉強していて、「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	やや下回る	同程度	やや下回る
	(24)	学習に対して、自分から進んで行っている。	同程度	同程度	やや下回る
	(32)	話し合う活動を通じて、自分の考えを深め広げている。	やや下回る	同程度	やや下回る
	(39)	学級活動の時間に、友達同士で話し合ってクラスの決まりなどを決めている。	同程度	同程度	同程度
生 活	(43)	毎日、朝食を食べている。	同程度	同程度	同程度
	(48)	平日における1日当たりのゲーム使用時間	同程度 「2時間以上」	同程度 「2時間以上」	やや上回る 「2時間以上」
自 分 自 身 の こ と	(52)	自分には、よいところがあると思う。	同程度	同程度	同程度
	(60)	将来の夢や目標をもっている。	同程度	同程度	同程度
社 会	(68)	地域や社会で起こっている問題やできごとに関心がある。	やや下回る	やや下回る	下回る

【両調査の共通する成果と課題】

- ◎家庭での学習時間が、小学生は全国・県と比べて長く、中学生も同程度を保っている。
- ◎毎日朝食を食べることについては、高い割合を示している。
- △主体的に学びに向かう意識や学習していて「不思議だな」「なぜだろう」と感じることに課題がある学年が見られる。
- △地域や社会問題への関心、地域社会をよくすることへの関心が低い学年がある。

【今後に向けて】

- 主体性を引き出す導入の工夫を実践し、「できた」、「分かった」、「楽しい」を味わわせ、児童生徒が主体的に取り組むことのできる授業改善を推進する。
- 地域の教育力を生かした教育活動やコミュニティ・スクールでの取組の充実を図り、児童生徒が地域や社会とのつながりを意識できるようにする。